

IV. 業績の見通し

通期の業績につきまして、平成27年10月30日に公表した業績予想を修正いたしました。

販売電力量および売上高につきましては、業務用での契約電力の減少など至近の動向を反映し、前回業績予想を修正いたしました。

また、損益につきましては、高稼働を続ける火力発電所の稼働状況などを見極める必要があることから未定としておりましたが、泊発電所の年度内停止を前提に、至近の火力発電所の稼働状況などを踏まえ、業績予想を算定しましたのでお知らせいたします。

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、前期に比べ、収入面では、販売電力量の減少に加え、燃料価格の低下による燃料費調整額の減少はありますが、平成26年11月から実施した電気料金の値上げや再生可能エネルギーの固定価格買取制度の影響などにより、売上高は増収となる見通しであります。

また、経営全般にわたる徹底した効率化への継続的な取り組みのもと、支出面では、経年化対策工事などによる修繕費の増加はありますが、販売電力量の減少や燃料価格の低下による燃料費の減少などにより、経常損益は前期の損失から改善し、利益となる見通しであります。

この結果、売上高は7,260億円程度、営業利益は400億円程度、経常利益は250億円程度、親会社株主に帰属する当期純利益は220億円程度となる見通しであります。

期末配当につきましては、普通株式および優先株式ともに引き続き未定といたしますが、今後、当期業績の達成状況等を確認しながら、復配について検討を進めてまいります。

○ 連結業績見通し

28年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通	期	
		対前回増減	対前期増減
売上高	726,000	△6,000	33,000
営業利益	40,000	—	36,000
経常利益	25,000	—	34,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	22,000	—	19,000
(対前期増減率) 販売電力量	(△3.5%程度) 288億kWh程度	△1億kWh程度	△10億kWh程度

○ 単独業績見通し

28年3月期単独業績予想

(単位：百万円)

	通	期	
		対前回増減	対前期増減
売上高	697,000	△6,000	33,000
営業利益	35,000	—	31,000
経常利益	20,000	—	29,000
当期純利益	19,000	—	15,000

※ 対前回増減は、平成27年10月30日に公表した業績予想との差を記載しております。

※ 通期の為替レートは121円/\$程度(1月以降120円/\$程度)、原油CIF価格は50\$/b1程度(1月以降35\$/b1程度)として想定しております。